

提出順	15	発言順	15	令和3年2月18日
				午前・午後 2時15分受領

(3枚中No.1)

令和3年2月18日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員 小林 陽子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和3年安曇野市議会3月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	25分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他()		
質問事項	歩くまちづくりの推進		

質問の要旨(具体的に記載してください)

コロナ禍で、密を避けながら健康維持をする重要性がクローズアップされている。感染拡大防止を優先するため、地域の行事や人の集まるイベントが中止となり、運動の機会も減り、人と人とのつながりが断たれ、安曇野のあちこちで活気が失われているようだ。我慢の時ではあるが、密にならず、将来も見据えて市民にとっても意義のある取り組みとして「歩くまちづくり」に取り組んではどうか。

- 一般的な話として、歩くこと＝ウォーキングによる心身の健康維持、介護予防等の効果は高いと考えるが、どうか。
- ウォーキングイベントに多数の住民が参加している地区もあり、レクリエーションの要素や地域を知るといった効果もあるときく。地区ごとのウォーキングコースを改めて整備して利用を推奨し、安全安心のまちづくりに活かしてはどうか。
またコース沿いに案内板やベンチを整備し、観光にも活かせる資源にしてはどうか。
- 市の推進する「コンパクトシティ」や「自転車を活用したまちづくり」と併せ、「歩くまちづくり」に取り組んではどうか。
市民の健康づくり → 防犯、防災、環境、観光資源 といった効果も期待できる。

